

Pre-News Letter No.11

18年 7月26日(水) 発信

Sato Project

Sato Project

農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境—
「里」プロジェクト

お問い合わせ

総合地球環境学研究所佐藤研究室 (大島) e-mail:mihosma@chikyu.ac.jp

〒603-8047 北区上賀茂本山 457-4 Tel:075-707-2384 Fax:075-707-2508



毎月20,21,22日だけ販売します。笹屋伊織の“どらやき”。

http://www.digistyle-kyoto.com/hyakumikai/hyakumi_79.htm

佐藤プロジェクト畑開拓日記

大島美帆 (地球研 プレニュースレター発行担当)

佐藤プロジェクト畑開拓日記

地球研の横に土地を借りて佐藤プロジェクトの畑を作りました。
名前はまだまだありません。

2006年6月4日、ミニ耕運機で地ならしをしましたが、小石・大石・木材等々各種満遍なく転がっているので、小石が四方八方に飛んできます。こんな土地ですから、幾度となくエンストを起こし、骨を折りました。

写真の白いシャツを着ている方が福永さん(上級研究員)。後ろの方にいるのが丹野さん(上級研究員)。



地ならしをしつつ目に付く大きな石を素手で拾いました。

こういう土地では大根なんかを植えると人型大根が出来そうだねという話もしながら、黙々と拾い集めたところ、いくつかの巨石も発見・発掘しました。

一心不乱に拾う武藤さん (RA・左) と田中さん (研究員・右)。

右の写真は拾った石の一部です。

未だに土地自体は石がごろごろしていますが、その間から立派に芽を出している姿を見ることができます。



7月。1ヶ月たつとこうなりました。
連日の雨続きで、思うように成長しない
ので、畑の従事者の皆さんは苦勞の毎日
です。



この畑の目的は、系統保存、RNA 抽出、
展示などなどです。植えているものは、
きゅうり、メロン、とうもろこし、もろ
こし、あわ、しこくびえ、まめ、ささげ、
イネ、そしてひまわりにあさがお、ズッ
キーニなどなど多種多様。

なんとか種が取れるまではがんばってほしい、と毎日エールを送っています。



皆さん毎日デスクワークで疲れます。そうい
う時はふらっと出て行って成長の様子を眺め
て帰ってきます。

土壌の問題はいまだに課題です。しかも、時
折、動物の足跡があるのを見つけて、近々柵
を設けることを審議しているところです。

周辺に緑は大変多い地球研ですが、予期せぬ
生物と対面することになるようで、自然との
ふれあいを感じています。

この先五年のプロジェクトの間にこの土地が、
地球研の肥沃な三日月地帯になるよう、
日々これ努力です。



(地球研 佐藤プロジェクト プレニューズレター発行担当 大島美帆)